

「日本地熱協会」 設立趣意書

平成 24 年 11 月 12 日
日本地熱協会設立準備会

地熱エネルギーはわが国に豊富に存在する純国産エネルギーです。また、地熱発電は CO₂ の排出がきわめて少ない再生可能エネルギーであるだけでなく、天候に左右されない安定した電源であることから、その利用拡大に大きな期待が持たれています。

しかしながら、わが国の地熱発電所の建設は 1999 年の八丈島地熱発電所を最後に滞っており、海外の主要な地熱資源国において地熱発電所が急増している中で、わが国だけが低迷しているのが実情です。

本年、地熱発電に対するわが国の支援制度が刷新されるとともに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートしました。また、地熱発電の有望地域が多く存在する自然公園内での地熱発電に対する規制緩和がなされるなど、地熱発電事業の推進にとっての環境が整備されつつあります。

今後、新しい支援制度を活用して地熱発電所の建設を加速するためには、地熱開発企業の連携をさらに強化することはもちろん、関係する行政機関や地熱資源を有する地元自治体との密接な連携が不可欠であり、その連携のもとに新制度の適切な運用が図られてこそ、新しい地熱発電所の建設という成果が得られるものと思料致します。

一方、地熱発電事業が環境に与える影響など、地元関係者の不安の声も多く聞かれるところであり、環境との調和と温泉事業との共生は業界を挙げて取り組まなければならない重要課題です。また、地熱発電事業の更なる発展のためには、必要により国の支援拡充や更なる規制緩和を求めなければならない場面も想定されます。これらの取り組みを通して、これまで障害となっていた様々な課題を解決し、地熱発電事業の健全な発展に寄与することが、地熱開発業界に課せられた使命です。

この使命を達成するためには、広く地熱開発業界の参加を呼び掛けた新しい組織を設立する必要があるとの認識に立ち、(1) 地熱発電開発の合理的な推進、(2) 政府その他関係機関に対する提言と陳情、(3) 地熱発電全般に係る会員相互の情報交換、(4) 地熱発電に対する理解の促進と広報、を主たる事業とし、わが国の地熱発電の健全なる普及推進を目的とする新しい組織として「日本地熱協会」の設立を發起いたします。

本会がわが国の地熱開発業界を名実ともに代表し、強力かつ清新な団体としてその責を果たすためには、多くの地熱開発企業の入会を得るとともに、本会の事業運営に対する会員の多大なるご協力が必要です。

皆様におかれましては、本会設立の趣旨にご賛同のうえ、ご入会いただくことを切に希望致します。